

2024 年度支援事業（ビジネスプランコンテスト）

課題提起・付加価値創造コース（アイデア募集）

採択ビジネスアイデア

アイデア名称：トイレがない山での携帯トイレ使用促進事業

－ 山でトイレができる環境を提供し水源地の汚染を防ぐ－

採択者名 ： 創価大学経営学部安田ゼミチーム ORCA

（注）本ビジネスアイデア（原文のまま）は、採択者の希望により公表します。
本ビジネスアイデアの知的財産権は、採択者が有しています。
本ビジネスアイデアの無断転載・引用を禁止します。

2024 年 9 月 2 日

主催者 一般財団法人 水・地域イノベーション財団

チーム名：ORCA

チームメンバー：鈴木さくら、小川愛理、横山友哉、堀部義政、吉武悠太

1. ビジネスアイデアの名称

トイレがない山での携帯トイレ使用促進事業

- 山でトイレができる環境を提供し水源地の汚染を防ぐ-

2. 応募ビジネスアイデアで対象とする課題及び考案の経緯(200字以内)

課題

山での野外排泄による水源地の汚染を課題とする。丹沢大山ボランティアネットワーク(2023)によると、山のトイレ不足から、野外で用を足す多くの登山客の存在により、山中の清流で大腸菌群が検出されている。

考案の経緯

独自調査から、山でのトイレの設置が困難であると判明した。既存の常設・仮設トイレは水や電気、汲み取りを必要とし、制約が多い。以上より、携帯トイレによる課題解決が妥当だと考えた。

3. 課題解決するための現段階でのアイデア (400 字以内)

私達は、トイレのない山で携帯トイレを使用しやすくするサービスを提供し、野外排泄の防止を目指す。独自調査により、登山客の携帯トイレの使用率は低いことが分かった。この理由として、他の登山客からの視線と、使用した携帯トイレの持ち帰りという2つの要因が挙げられる。

これを解決する施策として、

- ①他の登山客からの視線を遮る事ができるボックス型携帯トイレブースを登山口に設置する。
- ②登山中に出た使用済み携帯トイレの回収ボックスの設置を行う。設置場所として、登山口周辺の施設を想定しており、登山客が回収ボックスを利用する際には200円を徴収する。また、携帯トイレを持参していない登山客に向けてトイレブース内及び協力施設での携帯トイレの販売も考えており、価格は1つ500円を想定している。

4. アイデアを実施する場合のスケジュール

アイデアを実施するためのステップとして主に、①施策の改善②各ステークホルダーへのアプローチを計画している。以下が具体的なスケジュールである。(私達はこの施策を考える上で、長野県松本市にある山で実装することを目指している。)

2024年7月

- 施策の改善
- 協力者が持つ課題を解決できるようなアプローチを考える
- 携帯トイレと回収ボックスを利用していただくためのルール作り

2024年7月～8月

- 実証実験に向けて各協力先施設（涸沢ヒュッテ、横尾山荘）・環境省・林野庁の中部森林管理署に許可をとる

2024年8月～9月

- 長野県松本市の北アルプスにある涸沢ヒュッテに携帯トイレブース、横尾山荘に回収ボックスを置き実証実験

2024年9月

- 施策・ビジネスモデルの完成

2024年10月

- 協力施設・松本市へ実装の提案

5. アイデアを実施する場合に想定される主要メンバー

協力者：株式会社エクセルシア 代表取締役社長 足立寛一

支援者：涸沢ヒュッテ オーナー 小林剛

横尾山荘 代表取締役 山田直

林野庁 中部森林管理署

環境省